



制定日 2003/03/15

改訂日 2020/07/15

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品および会社情報

製品名 : リンスタンパー  
 製品の種類 : オフセット印刷湿し水添加剤  
 会社名 : テクノロール株式会社  
 所在地 : 〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3-4-5  
 担当部門 : 技術本部 化学部門  
 電話番号 : 0725 (53) 3933  
 FAX 番号 : 0725 (53) 3922  
 E-Mail : tech@technoroll.co.jp  
 管理番号 : No. MD-RT08

### 2. 危険有害性の要約

#### <GHS分類>

健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) 区分4  
 急性毒性(経皮) 区分3  
 急性毒性(吸入:蒸気) 区分2  
 皮膚腐食性・刺激性 区分2  
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2 A  
 生殖毒性 区分2  
 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分1(中枢神経系、血液、腎臓、肝臓)  
 区分3(気道刺激性)  
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) 区分2(血液)  
 環境に対する有害性 : 水生環境有害性(急性) 区分2

\*記載のないものは「区分外」、「分類対象外」、又は「分類できない」

<国/地域情報> なし

<GHSラベル要素>

絵表示



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害 (H302)  
 経皮に接触すると有毒 (H311)  
 皮膚刺激 (H315)  
 強い眼刺激 (H319)  
 吸入すると生命に危険 (H330)  
 呼吸器への刺激のおそれ、または、眠気やめまいのおそれ (H335+H336)  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)  
 中枢神経系、血液、肝臓の障害 (H370)  
 長期にわたる又は反復ばく露による血液の障害のおそれ (H373)

- 安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)  
 取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)  
 環境への放出を避けること。(P273)  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)  
 指定された個人用保護具を使用すること。(P281)  
 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。(P284)
- 応急措置 : 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。(P301+P312)  
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。(P302+P352)  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 (P304+P340)  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して  
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
 ばく露した場合：医師に連絡すること。(P307+P311)  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。  
 (P308+P313)  
 直ちに医師に連絡すること。(P310)  
 気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P312)  
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。(P314)  
 特別な処置が緊急に必要である(このラベルの応急措置を見よ)。(P320)  
 特別な処置が必要である(このラベルの応急措置を見よ)。(P321+P322)  
 口をすすぐこと。(P330)  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。(P332+P313)  
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。(P337+P313)  
 汚染された衣服をすべて脱ぐこと。(P361)  
 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362)  
 汚染された衣服を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)
- 保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)  
 施錠して保管すること。(P405)
- 廃棄 : 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理委託にて  
 廃棄すること。(P501)

### 3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名/成分	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	含有率(%)
グリコール系溶剤	—	—	—	10-20
アルコール類	—	—	—	5-10
界面活性剤	—	—	—	1-5
硝酸塩	—	—	—	< 1
リン酸塩	—	—	—	< 0.1
安定剤、染料	—	—	—	< 0.1
水	H <sub>2</sub> O	7732-18-5	—	残量

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の場合に被災者を移して、保温し安静にする。  
 呼吸が止まっている場合、及び呼吸が弱い場合は衣類を緩め呼吸気道を確保した上で  
 人工呼吸を行い、直ちに医療処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに取り替え、触れた部分を大量の水及び石鹸で洗い流す。  
 外観に変化が見られたり、痛みが取れない時は医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄水で15分以上洗眼(瞼の裏までよく洗う)した後、速やかに眼科医の治療を

- 受ける。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、無理に吐かせないで医師の手当を受ける。  
嘔吐する場合、頭部を横に向ける。  
意識喪失の危険がある場合、待機や運搬は安全な側臥位で行う。
- 最も重要な急性と発症の遅い症状/影響 : データなし
- 応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡、大量の水、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。  
関係者以外は安全な場所に退去させる。  
周辺火災時、容器に水を噴霧して冷却する。  
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は必ず保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置 : 特別個人用保護具（自給式呼吸器）を着用する。  
漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。  
十分に換気を行う。  
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 製品が排水路に排出されないよう注意する。
- 封じ込め及び浄化方法・機材 : 乾燥砂、不燃性吸収剤などに吸収させて密閉できる容器に回収する。  
大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。  
付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。  
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。  
火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱いは換気のよい場所で行う。  
適切な保護具を着用する。  
漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。  
取扱い後は手や顔などをよく洗う。
- 安全取扱い/注意事項 : できれば、密閉系で取扱う。  
蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。
- 保管
- 安全な保管条件 : 容器を密栓して換気の良い冷暗所に保管する。  
施錠して保管する。  
酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 法令の定めるところに従う。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 25ppm（エチレングリコールモノノルマループチルエーテル、2014年）
- 許容濃度 : ACGIH(2009年版) TLV-TWA 20 ppm  
（エチレングリコールモノノルマループチルエーテル）
- 設備対策 : 蒸気の発散源を密閉する設備、局所排気装置またはプッシュプル型換気装置を設ける。  
（有機溶剤中毒予防規則）  
取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
- 保護具

呼吸器の保護具	:	防毒マスク（有機ガス用）、送気マスク等。
手の保護具	:	不浸透性の手袋。
眼の保護具	:	保護眼鏡（ゴーグル型）。状況に応じ保護面。
皮膚及び身体の保護具	:	不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状	:	液体
色	:	青色透明
臭い	:	芳香臭
沸点	:	101℃
蒸気圧	:	データなし
比重	:	1.01 (25℃)
溶解度(水)	:	水に任意に溶解(無限大)
引火点	:	なし
発火点	:	データなし
爆発限界	:	データなし
可燃性	:	なし
発火性	:	なし(自然発火性、水との反応性)
酸化性	:	なし
自己反応性	:	なし
爆発性	:	蒸気は空気より重く、低所に停滞し易い。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	特記すべき反応性はなし。
化学的安定性	:	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性	:	特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件	:	火花、裸火、静電放電
混触危険物質	:	酸化剤、酸、ハロゲン類、アルミニウム
危険有害な分解生成物	:	一酸化炭素、二酸化炭素

## 11. 有害性情報

混合物の有害性情報はない。

## 12. 環境影響情報

混合物の環境影響情報はない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	適切な保護具を着用する。 地方条例や国内規制に従う。 焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。 引火性が高いため十分注意する。
汚染容器及び包装	:	空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。 処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
海上輸送	: IMOの規定に従う。
航空輸送	: ICAOの規定に従う。
国連番号	: 2810
品名	: その他の毒物(有機物)(液体)(他の危険性を有しないもの) TOXIC LIQUID, ORGANIC, N. O. S.
等級	: 3
容器等級	: III
国内規制	
陸上輸送	: 消防法の規定に従う。
海上輸送	: 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	: 航空法の規定に従う。
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

### 15. 適用法令

消防法	: 非危険物
労働安全衛生法	
有機則	: 第2種有機溶剤(エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル)
表示対象物質	: エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル(政令番号79)
通知対象物質	: エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル(政令番号79)
PRTR法	: 非該当

### 16. その他の情報

荷姿	: 500 ml ポリ容器
注釈	: 本製品データは一般的な情報および経験に基づき得られたものです。 本製品のもつ特性に関する品質保証を意味するものではありません。